

# 森づくり通信

No.31



2014年(平成26年) 3月20日(火)発行

発行/金沢森づくりサポートバンク事務局

〒920-1301 金沢市永安町77番地 (金沢市林業振興協議会内)

TEL:076-229-1699 FAX:076-229-1172



春の妖精 カタクリ

今年の冬はシーズン前の予報に反して、小雪でしたが寒かったように思います。ただ関東地方を中心にこれまでにない雪が降り、現代社会の脆さも認識されました。

当協議会ではこの時期、金沢の海岸松林の再生に向け各種団体、学校と協力して、抵抗性クロマツの植栽活動を行いました。

また、森づくり活動の日程が、着々とカレンダーに埋まりつつあり、皆さんも「金沢森づくりサポートバンク」と検索してチェックして頂けるとありがたいと思います。

## 平成26年 金沢森づくりイベント予定

日程	イベント内容 (予定)	場所
3月 29日(土)	「きのこの植菌体験」 原木にきのこの植菌をして1人2本お持ち帰り	金沢市東原原町
4月 26日(土)	「金沢テクノの森づくり2013春」 森林整備活動とベンチづくり、タケノコ掘り体験	金沢テクノパーク緑地帯
5月 10日(土)	「竹やぶマスターズ」① 竹やぶの伐採、森林整備活動、タケノコのごちそう	金沢テクノパーク緑地帯
5月 17日(土)	きんしん東原の森づくり 森林整備と里山のめぐみをいただく	金沢市東原町

### 森づくりの話 ③

今回はもう少し装備品について書きたいと思います。

まず何を履くかですが、林地は急斜面で水気の多い所があったり、雨が降った場合等からスパイク付き長靴がお薦めです。寒い時期なら厚手の靴下も履けるし、使い捨てカイロを付けても違和感がないように思います。ただ丈夫なしっかりしたものを選びたいと思います。

次に、何をかぶるかですが、下草刈りやキノコの植菌程度の作業ではヘルメットは必要ないと思いますが、キャップ式の帽子をかぶるだけでも頭を保護してくれます。後はタオルを首に巻いて汗を吸収させたり、拭いたりして便利です。伐倒や動力を使う作業ではヘルメットは必需品で、内側に発泡スチロールが入ってあごヒモがしっかり固定できるものが良いと思います。

手袋は必需品で少なくとも軍手は必要。皮手袋という人もいますが、軍手の上に滑り止めの付いたやわらかいゴム手袋をはめると、水気や汚れも気にならなくてよい感じでした。

# 森づくり出前講座 実施報告



森づくり活動や森林の講座などに「森づくり専門員」を派遣しています。

森林の役割や森づくりの進め方などについて、森づくり専門員が説明するとともに、森の中での体験学習などを行っています。

例えば小学校の総合学習の時間に森林環境教育や森林の公益的機能についての説明を行う、または森づくり活動の際に現地に出向いて技術指導をするなど様々なテーマでの出前講座を実施しています。この冬は主に海岸松林再生事業に関連した講座を実施しました。

森づくり出前講座の問合せ・申込みは 金沢市 森林再生課 TEL:076-220-2217 までお願いします

## 12/14 (土) 竹やぶバスターズ②



風雪がひどく計画していた作業は中止し、屋内で竹やぶを整備する意義の話とミニ門松づくりを行いました。時間がかかりましたが、お正月を迎えるおめでたいミニ門松が出来て大満足でした。



## 1/24 (金) 不動寺小シイタケの収穫と調理体験



3年生が昨年の春に植菌したシイタケの収穫を行いました。立派なシイタケが採れ、料理研究家のしもおきひろこさんに指導してもらい、シイタケピザと炊き込みピラフを作っておいしく頂きました。



## 2/5 (水) 千坂小学校出前講座



5年生95名を対象に、1限目は森林の働きを中心に授業を行い、2限目は各クラスに分かれて、金沢産のスギ間伐材で鉛筆立てを作ってもらいました。木を使う意義がわかってくれたかなー。



## 2/11 (火・祝) かえっこバザール



かえっこバザールの開催にあわせ、「カエルポイントで森を元気にプロジェクト」を実施しました。参加者にはポイントに応じて、森の妖精トントウや木のコースターを選んで作ってもらいました。



## 2/6 (木)、2/13 (木) 東浅川小学校



学校の多目的ルームを金沢産材で改装した事をきっかけに、2/6は5年生が自分達で搬出したスギ間伐材を使い、鉛筆立てと木製時計を作りました。2/13は6年生が卒業記念として木箱の小物入れを作りました。



## 2/27 (木) 里山フィールド実習体験



NPO 法人角間里山みらい主催で、金大生5名を対象に次世代の里山保全のリーダーを育てる事業の一環として、ナメコの植菌体験を行いました。電気ドリルでの穴あけ、種駒打ち込み、仮伏せ作業の一連を行いました。



# 金沢市 海岸松林 再生事業

金沢の海岸松林は防砂や防潮、防風のため先人が植栽、保育してようやく大きく成長し、人家や作物を守ってくれるようになりました。

ところが昭和の末頃から石川県でも、マツが大量に枯れる現象が目立ち始め、里山をはじめ貴重な海岸松林にまで被害が拡大してきました。

減少した海岸の松林を地域住民やボランティアの力で再生し、美しい松林を後代に引き継ぐために、金沢市が計画を策定し毎年 2,000 本、平成24年度まで5年間で計 10,000 本の抵抗性クロマツを、粟崎から打木に至る金沢海岸に植栽しました。この事業は平成25年度以降も継続しています。

※抵抗性クロマツとは： 松枯れの原因となるマツノザイセンチュウが、松の樹体内に侵入しても枯れにくい、抵抗力のあるクロマツです。



## 粟崎やすらぎの林

3月1日(土)  
植栽本数 400本

午前9時より粟崎やすらぎの林で、コマツ金沢工場の社員114人が、抵抗性クロマツの植栽とニセアカシアの枯死木や折損木の集積整備を行いました。多くの社員が参加し時間的には余裕で作業が進みました。



## 打木地区

3月9日(日)  
植栽本数 40本

農地の作物を守るため、抵抗性クロマツの植栽を行いました。同じ地区に5年前に植栽した松苗もすくすくと育っています。

以前、防風帯になっていたマツが松くい虫の被害に会い、伐倒処理した所を中心に植栽を行いました。



## 下安原地区

3月9日(日)  
植栽本数 500本

以前から生えていたクロマツが松くい虫の被害に会い、伐採した跡地に抵抗性クロマツの植栽を行いました。

この地区は防風帯が細かく配置されており、4班に分かれそれぞれ植栽の仕方の実演説明を行い、効率よく植栽をおこないました。



## 大野地区

3月11日(火)  
植栽本数 60本

大野日吉神社近くの金石・大野やすらぎの林で、からくり楽会の皆さんの協力を得て、大野町小学校1年生30人が、1人2本ずつ抵抗性クロマツを植栽しました。

事前にかからくり楽会の皆さんが190本を植栽しており、合わせて250本のクロマツの植栽になりました。



## 金沢森づくりサポートバンクのホームページをご覧ください！

### 「金沢森づくりサポートバンク」

<http://www.kanazawa-forest.com/supportbank/>

森づくりイベントの案内や活動報告などを掲載し、道具の貸し出し申請書や会員登録用紙のダウンロードなどもできるサイトとなっています。

貸し出しする道具の種類や予約・貸し出し状況が、ホームページ上で分かるようになっています。

### 森づくり通信を見ることができます

サイト内の「森づくり通信の発行」欄に、創刊号～最新号までのリンク(pdfファイル)があります。

インターネットでの森づくり通信の閲覧や、ダウンロードができます。

また、森づくり団体が実施されている活動は、お知らせコーナーでご紹介しますので、ご覧いただきたいと思います。



## 刈払機 講習会のお知らせ

### 「刈払機取扱作業者の安全衛生教育」 【日時】平成26年 4月17日(木)

刈払機を安全に正しく使うための講習会が実施されています。登録会員の方には受講に対しての支援を行っていますので、希望される方はこの機会に是非受講下さい。会場は石川森林文化ホール(金沢市東虹爪)で行います。

**※お問合せ・お申込みは、4月4日(金)までに金沢森づくりサポートバンク事務局までお申込み下さい。**

### 編集後記

### 「マツ」

日本の海岸や里山でよく見られる風景ですが、海岸の松は自然に生えたのではなく祖先が1本1本植林して、大切に育てて今日に至っています。江戸時代はほとんど禁伐で、枯れた松の葉を年貢の一部として納める地方もあったそうです。

松は常緑(常磐)で神の依代、門松にも飾られおめでたい木の第一です。高砂の松のいわれや、葉も枯れ落ちて二本(二人)と縁起がいいとされます。

日本で有名な三大松原は「三保の松原」、お隣福井県敦賀市の「気比の松原」、石川県ではなじみのうすい佐賀県唐津市の「虹の松原」です。佐賀県は遠いですが一度は訪れたいと思っています。

金沢市森づくり専門員 加藤 八郎

